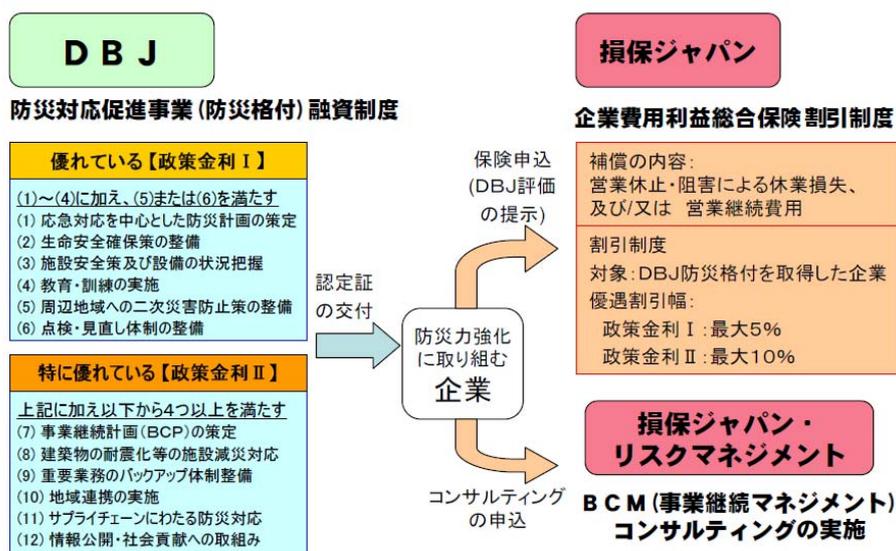


業他社と比較した自社の位置づけや、同業他社の取組概要などの情報ツールとしても活用でき、それはメリットとなりうる。そして、その結果を活用して、業務フロー、サプライチェーンの再構築を行い新たなビジネスチャンスも期待出来る。

最後に、防災格付手法を用いた世界初の融資制度であり、国際規格化を初めとするリスク・マネジメントが注目を集める中、地震を中心とする自然災害への備えを通じた総合危機管理体制の整備による安定供給、社会貢献体制の確保を、IR, CR (含む PR) の側面からアピール出来る事が考えられる。

さらに補足的ではあるが、BCP を作成し、防災格付融資を受けることへの具体的メリットとして、保険料の割引も挙げられる。BCP を行うことで企業のリスクが軽減されるわけであるから、保険料が下げられる事も理論的には可能である。仕組みとしては、融資金利の判定の結果を用いて割引率が決定されるが、例えば取組が特に優れており、「政策金利 II」と判断された企業であれば、企業費用利益総合保険の保険料を最大 10%割引される事となる。(図表 24)

図表24: 防災格付融資による保険料割引



8. 最後に

防災対策というと、今まではどうしても企業の中でも受け身的で、最低限の事だけ行えばよいという色彩が強かったが、昨今ではその傾向も変化してきている。つまり、企業の事業継続を行うことが、重要な経営戦略であり、またそれは社会的使命としても重要であるとして、前向きな姿勢で取り組まなければいけないという方向へ向かってきているということである。そして、その一方では、外部からも企業の防災に対する取組を評価しているという流れが出てきている。